

道の駅設置検討協議会 第6回会議要旨

日 時	平成29年1月11日（火）午後3時00分～4時30分
場 所	前橋市立図書館地下講堂
出 席 者	<p>■協議会委員： 都丸会長、小暮副会長、植木委員、中村委員、萩原委員、関根委員、狩野委員、高坂委員、藤野委員、相澤委員、小林委員、南委員、圓岡委員、湯川委員、飯塚委員、伊能委員、長谷川委員、角田勉委員、角田雄二委員 代理：中島委員（武藤氏） 欠席：平形委員、浪川委員、青木委員、韓委員、兼本委員</p> <p>■オブザーバー： 国土交通省高崎河川国道事務所 永江副所長、 群馬県道路整備課道路企画室 眞庭室長、 前橋市 倉嶋副市長、高梨文化スポーツ観光部長、岩佐産業経済部長、金井農政部長、中西都市計画部長、加藤建設部長</p> <p>■事務局： （政策部）藤井部長、（政策推進課）谷内田課長、下坪室長、川崎副主幹、清水主任</p>
開催趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者との意見交換結果について</li> <li>・計画付事業予定者公募について</li> </ul>
藤井政策部長	<b>1 開会</b>
都丸会長	<b>2 会長挨拶</b>
	<進行：都丸会長>
倉嶋副市長	<b>3 副市長挨拶</b>
道の駅推進室	<b>4 議事</b>
	<民間事業者との意見交換結果について説明>
	・資料1
	<計画付事業予定者公募について説明>
	・資料2-1、2-2
都丸会長	事務局から年度当初からの経過も含めて、民間事業者との意見交換の結果と計画付事業予定者公募を進めるための要項の説明がありました。このことについて、ご質問、ご意見有りましたらお願いします。

藤野委員	サウンディング市場調査においてはどのような事業者が参加しましたか。また、その中で、地元事業者は何社位でしたか。
道の駅推進室長	道の駅全体又は一部の運営希望のサウンディングにおいては大手事業者を含め県外、県内から18事業者に参加頂きました。業種としては建設系やサービス系、他道の駅の運営事業者などが含まれています。その中で、県内事業者は8社となっています。
都丸会長	かなり多くの事業者の方に、積極的に参加頂けたようです。 このサウンディングの結果や今までの協議会での意見をもとに、説明のありました公募に向けた要項が作成されているという事です。今回、1月中に公募に向けた手続きを開始するとのことですので、最終的に皆様のご意見を伺い、次のステップに進みたと考えています。
植木委員	やはり私はトイレが一番重要と思います。以前の会議でも意見を出していますが、商工会議所の視察で行った刈谷パーキングエリアのように一流ホテルのような女性にやさしいトイレが出来れば話題性にもなると思います。そのためにも、もう少しトイレについて、条件を設定して頂きたいと思います。 また、道の駅で提供する料理についてですが、地元の食材を使い、特に美味しさを強調していただきたいと思います。
都丸会長	私も、商工会議所の視察に参加していますが、刈谷パーキングエリアの女性トイレは素晴らしく、これが一つの目玉になっています。是非、このあたりの表現を要項において検討頂きたいと思います。
角田雄二委員	以前から意見として出していますが、私は前橋市の業者を優先的に入れて頂きたいと思っています。そのために道の駅をつくるわけですので、県外業者を入れないようにして頂きたいです。 また、駐車場についてですが、小型車が105台では全然足りないです。これでは南橋公民館と同じ位です。300台以上の駐車場を作らなければ駄目だと思います。是非検討頂きたい。
道の駅推進室	説明が不足しておりましたが、こちらに記載しています台数は、上武道路の通過交通から算出しました、道路休憩機能としての台数となっています。これに加えて、地域振興施設に必要な駐車場も確保する必要がありますので、表現については検討します。
中村委員	冒頭の副市長さんの挨拶の中にもありましたが、この道の駅は観光の目的地となることが整備の大きな目的となっていますが、危機的状況に備える防災復旧の拠点となる場ということも大きな目的としてあります。これに対応するものが今回の計画においては駐車場しかありませんが、それにしても駐車場が狭い

	<p>と思います。この道の駅を整備する一つの目的は30年以内に起こるであろう大きな災害に備えることを前提としています。それに対する具体的なものがこの要項においてどのように示されているのかお聞かせ願います</p>
道の駅推進室	<p>昨年の熊本地震におきまして、本市危機管理室の職員が派遣されておりますが、その派遣者からの報告によると周辺地域からの支援者や支援物資が一時的に滞留するスペースが必要であるということでした。そのため、今回の物資供給中継地点としてのスペース等を確保することを条件としています。また、災害時対応のためのマンホールトイレやそれに必要な水や電源の確保などを条件としています。先ほどご指摘頂きました駐車場につきましては表現が適切でない部分がありますので、検討させていただきます。</p>
中村委員	<p>震度7の地震があった場合、地域の方が何人位避難するかという想定が必要と思いますが、どの様になっていますか。</p>
道の駅推進室	<p>前橋市としては地域防災計画というものがあり、前橋の市民の方の避難所に関しましては、既にある施設において計画されています。そのため、今回の道の駅につきましては、災害時に道路を利用する方が一時的に使う避難場所として考えております。</p>
中村委員	<p>災害時において前橋を中心とした対応というものがこの場所を活用してできるのではないかと思います。如何でしょうか。</p>
政策推進課長	<p>色々なご質問があるかと思いますが、前回の会議において、50年後、100年後を考えた道の駅を整備するため、民間の知恵と資金を使いたいとご説明させて頂きました。スケジュールや開発における課題を考慮しつつ、それを実現する方法として今回の独立採算型PFIとデザイン・ビルド・オペレーションを組み合わせた手法として設定させて頂きました。この方法では、まずは、整備方針に沿って民間からの提案が出てきますので、その中で、市と民間が協議を行い駐車場や災害時対応などを含め最終的な計画を決めていきたいと考えています。また、この手法を採用する理由の一つとして、施設の内容を優先という事がありますので、同じ提案内容であれば、地元を優先することになりますが、基本的には県外事業者も提案できるような条件とさせて頂きたいと思います。</p>
倉嶋副市長	<p>今回示している駐車台数は、道路休憩施設としての最低必要台数であります。それ以外の地域振興施設として必要な台数については、提案される施設によっても異なりますので、事業者が決まってから市と協議により最終的な台数を決めるという事でご理解頂きたいと思います。また、防災に関することも基本的には同様ですが、市としてこの場所の防災拠点としての位置付けをしっかりと整理したいと思います。</p>

<p>関根委員</p>	<p>副市長さんの冒頭の挨拶にもありましたが、道の駅は元々ドライバーの休憩施設としてスタートしています。以前の会議でも意見が出ていますが、バス事業を営むものとして、ドライバーが休憩しリフレッシュする空間を提供することは必須条件と思います。また、トイレの数も少ないように思いますので、ご検討頂きたいと思います。</p>
<p>藤野委員</p>	<p>道路について質問します。今回の計画では上武道路と荒牧関根線の交差点からの進入となっていますが、上武道路を東から来た場合の右折車線と西から来た場合の左折車線はどの様になりますか。特に大型車においてですが、この一か所からの進入する計画で大丈夫なのでしょうか。</p>
<p>道の駅推進室長</p>	<p>上武道路と荒牧関根線の交差点については、道の駅への利用者数を基に道路管理者である国土交通省や公安委員会との協議によって最終的な形状が決まるため、この場で確定的なことは申し上げられませんが、当然渋滞しないような形状で協議を行いたいと思います。</p>
<p>藤野委員</p>	<p>是非、東から来た場合の右折専用車線と西から来た場合の左折専用車線の設置を希望します。</p>
<p>湯川委員</p>	<p>私は東京から来ているので、観光客視線としての意見ですが、展望台がほしいと思います。計画地から直接赤城山が観られない立地であるので、日本一の道の駅を目指すなら、観光客が赤城山をみて、記念写真を撮ってSNSで拡散されるようなものが必要だと思います。前橋のランドマークとなるようなものを是非つくってほしいと思います。</p>
<p>政策推進課長</p>	<p>必須施設にしてしまうと、市の負担で整備しなければならない可能性もあるため、望ましい施設として、民間の提案を受けることを検討させていただきます。</p>
<p>角田勉委員</p>	<p>農畜産物直売所についてですが、どうやって農畜産物を集荷し、それをもう一度、市内業者に売って循環させるかということが重要になると思います。そのため、集配機能を是非検討して頂きたいと思います。この道の駅は市の北の方ですが、南部でいちご、トマト、キュウリなどを生産している小規模農家にとっては、持っていくことが大変な労力となってしまいます。運輸関係の委員さんもいらっしゃいますので、新たな仕組みを是非ご検討頂きたいと思います。</p>
<p>小林委員</p>	<p>手法についてですが、今回のPFIとDBOの複合型のモデル例があれば示して頂きたい。</p>
<p>政策推進課長</p>	<p>基本的には無いと思います。先ほども説明させて頂いていますが、今の前橋にとって民間の知恵と民間の資金を活用し、また、最大限、国からの補助金など</p>

	を取り入れられる可能性がある一番有効な手法として設定したものです。
小林委員	はじめてという事は、リスクも出てくることもありますが、それによって先進事例のモデルを作るという事ですね。
政策推進課長	新しいことを始めようとする、色々とリスクがあり、難易度が高くなりますが、国、県、関係機関などに確認しながら、進めさせて頂きたいと思います。
植木委員	今回の施設案において、以前会議で意見の出ているシャワー施設が、望ましい施設となっていますが、休憩施設として必要なものと思いますが、如何でしょうか。
政策部長	先ほど、関根委員さんからも、ドライバーの方々の休憩施設についてご意見を頂いておりますので、市の内部でもう一度検討させて頂きたいと思います。
都丸会長	今回、この協議会后、1月中に事業者公募に向けた手続きを開始する予定となっています。本日、皆様からのご意見は出尽くしたものとして、今後の検討や修正は事務局に一任して、手続きを進めてもらうという事でよろしいでしょうか。
一同	同意
都丸会長	それでは、事務局の方で、手続きを進めて頂きたいと思います。また、我々の委員としての任期は3月までありますので、市の方で再度ご意見を伺う必要があるときは、招集がかかる可能性があります。その際はご協力をお願いします。それでは、ここまで皆様にご協力を頂いたことに感謝申し上げて、議長の席を降ろさせて頂きます。ありがとうございました。
	<p><b>5 その他（政策推進課）</b> 事務連絡</p> <p><b>6 閉会（藤井政策部長）</b></p>